

講義名	都市・地域計画			授業形態			
担当教員	植松 宏之	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 3時限				
		単位数	2	履修開始年次	2年生	ナンバリング・コード	RED262
主題と概要							
都市が秩序ある公共空間として利用され、整備されるための一定のルール（法体系）について、「都市計画法」の基本的考え方を解説する。同時に、日本が抱える少子高齢化、都心への一極集中などの社会課題を学び、都市が持続するために必要な都市施策について学ぶ。授業の進め方として、国内外のまちづくりの事例紹介を取り入れて、地域まちづくりへの関心と興味をもってもらう。まちづくりの仕事の領域（業務範囲）は幅広いこともあり、学生が社会に出た時、どのような仕事（職種）があるのか具体的にイメージできるように解説する。							
到達目標							
・秩序ある都市を形成する規制・ルールを学ぶことができる。 ・都市・地域計画の骨格となる『都市マスタープラン』の考え方を学ぶことができる。 ・都市計画における3つの基本要素（土地利用、都市・交通施設、都市開発事業）を学ぶことができる。 ・「災害に強いまちづくり」「歩いて楽しいまちづくり」等の具体的な事例を習得し、まちづくりへの実践的な理解を深めることができる。							
提出課題							
授業内容に関するレポート課題あり。実施方法（レポート提出／授業時間内における演習）はその都度指示する。							
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法							
登壇の授業の際、解説や全体的な講評を行う。							
評価の基準							
試験（確認テスト2回）を70点、平常点（レスポンスによる課題レポート）を30点として評価する。 前半、後半に実施する2つの確認テストを受講しない場合、単位は付与されない。 確認テストは、筆記試験とするが、講義で配布された講義資料のみ持ち込みを認める。携帯電話やパソコンの持ち込みは不可とするので注意されたい。そのためにも授業で説明した内容を講義資料に書き込むなど積極的な学習姿勢を期待する。 定期試験は実施しない。							
履修にあたっての注意・助言他							
「まちづくり」の全体像を把握するための基礎的な考え方やその事例を解説するので、授業で配布される講義資料や課題演習を通して、講義内容を理解してもらいたい。そのため、講義中に教員から学生に質問を投げかけるので、理解を深める機会として、恥ずかしがらずに自分の考えを述べるなど前向きに受け止めてほしい。							
教科書							
なし。							
参考図書							
・都市計画。		川上光彦	森北出版	2800	4627496133		
・新・都市計画概論。		加藤 晃・竹内伝史	共立出版	3700	4320074246		
・最新エリアマネジメント。		小林重敬	学芸出版社	4000	4761540915		

その他	
授業開始時に講義資料を配布する	
授業計画	
第 1 回：都市・地域計画概論 予習内容：シラバスの内容を確認し、「まちづくり」とはどのようなことなのか自分が住んでいる地域の課題を考え、講義に出席すること（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 2 回：計画手法・都市マスタープラン（その1）「まちづくりの仕組み」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、都市計画の段階的な仕組みを予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 3 回：計画手法・都市マスタープラン（その2）「市街地開発事業」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、都市計画で定められた開発事業の手法を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 4 回：交通設計計画：「まちづくりと交通」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、公共交通の仕組みを予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 5 回：緑地・公園計画：「まちづくりと環境」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、都市公園の種類や役割等を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 6 回：地区計画：「まちづくりと合従形成」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、地区計画制度の仕組みを予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 7 回：市街地整備・再開発事業（大都市）：「コンパクト大版」（東京・大丸有地区、等の取り組み） 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、市街地開発事業の仕組みとその事例を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 8 回：都市・地域計画(No.11～No.12)　前半講義の振り返りと確認テスト 予習内容：第1回から第7回までの講義資料と講義ノートを復習して、前半確認テストの準備を行う。（4時間） 第 9 回：集約型都市構造とネットワーク：「コンパクトシティ（経済社会情勢の環境変化）」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、都市の縮小と集約型都市構造を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第10回：集約型都市構造とネットワーク：「コンパクトシティ（都市交通施策）」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、人口減少社会における公共交通の役割を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第11回：集約型都市構造とネットワーク：「コンパクトシティ（市街地整備施策）」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、コンパクトなまちづくりを予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第12回：エリアマネジメント：「大都市・地方都市での取り組み」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、エリアの価値を高める活動を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第13回：最近の都市・地域計画のトピックス紹介（その1）『災害に強いまちづくり』 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、防災まちづくりの考え方を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第14回：最近の都市・地域計画のトピックス紹介（その2）『立地適正化計画』 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、住宅や病院などの都市機能の集約を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第15回：都市・地域計画(No.9～No.14)　後半講義の振り返りと確認テスト 予習内容：第9回から第14回までの講義資料と講義ノートを復習して、後半確認テストの準備を行う。（4時間）	
授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	
経済学科共通のディプロマ・ポリシーは「人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎を身に付け、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察し、課題を提案することができる。」です。この授業では、「都市地域計画」の法的な仕組みを理解し、現代社会におけるまちづくりの進め方や課題等について学習する。	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
実務経験の有無及び活用	
・実務経験あり ・民間企業で都市開発業務（大規模ニュータウン建設、都市再生事業等）に関与してきた実績を活用して、具体的な事例を紹介しながら、学習しやすい工夫を実施します。	
備考	